

経営比較分析表（令和5年度決算）

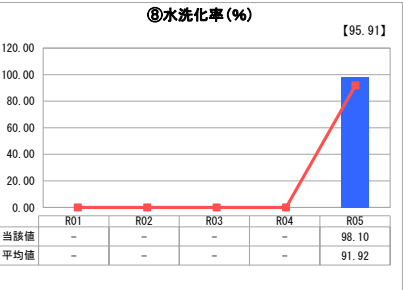
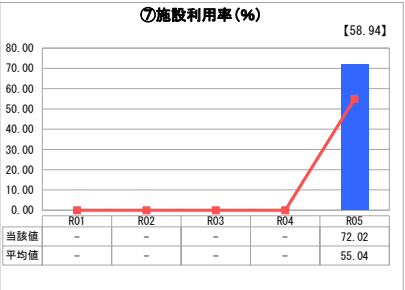
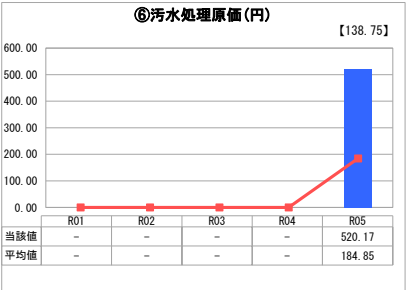
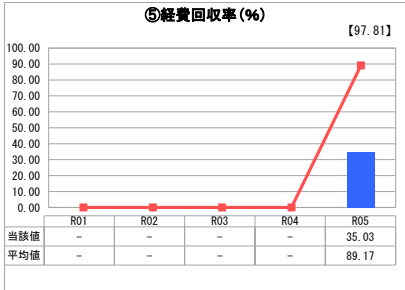
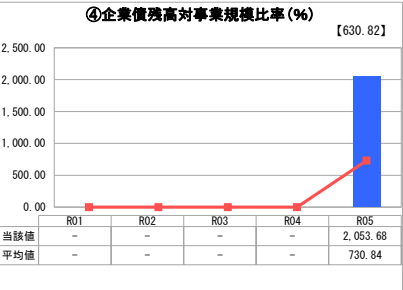
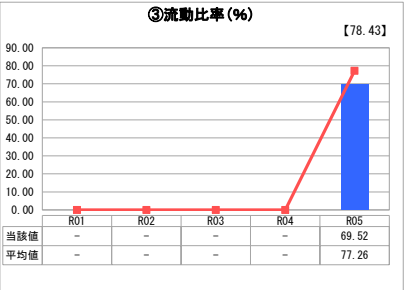
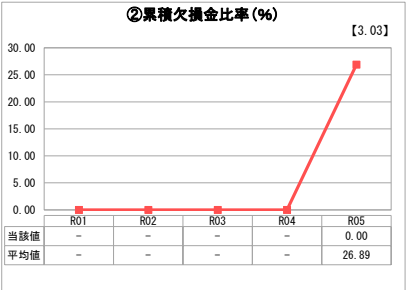
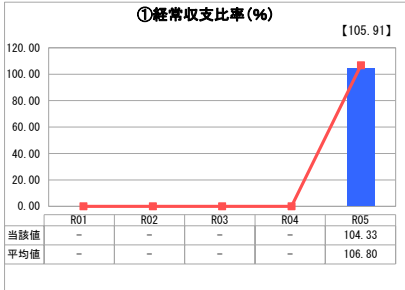
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	82.66	70.88	58.73	3,115

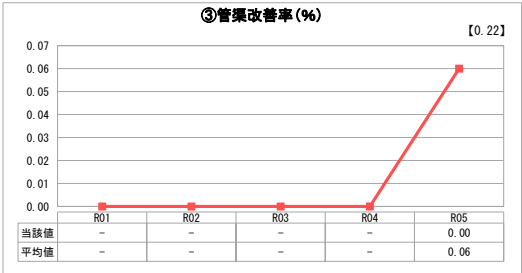
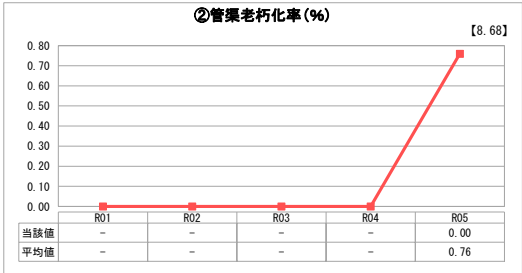
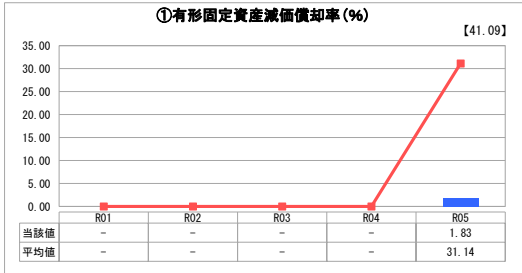
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,151	144.21	91.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,211	6.14	1,500.16

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度決算について、法適用初年度のため、表示されている値での分析は不可能である。
経費回収率については、類似団体より下回っており、要因として耐震化計画や管路調査を行ったため。
汚水処理原価についても同様に維持管理費の増加により高額となっている。類似団体と比較しても、高い水準となっており、今後もさらなる適正な維持管理に努めるとともに、接続率の向上に努める必要がある。
施設利用率については、類似団体と比較して高い水準であるが、人口減少に伴う施設規模の適正化を検討する必要がある。
水洗化率については、ほぼエリア全域に普及しているが、一部未接続があり、さらなる普及促進に努めていきたい。類似団体と比較して、高い水準の理由として、下水道事業への早期取組が要因と考えられる。

2. 老朽化の状況について

管渠の改善率については、近年、管渠修繕の実施がなかったが、今後はストックマネジメント計画をもとに管渠の更新に取り組んでいく。

全体総括

経営の健全化に向けて、さらなる維持管理の効率化で経費削減に努め、適正な料金改定を進める必要がある。また、施設の老朽化に備え、処理場施設や管渠等の計画的な更新を進め、健全な事業運営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。